

# 潮見地区 地域福祉活動計画

【第3期計画】令和7年度～令和11年度

しんせつで おもいやりある みんなの潮見



潮見地区社会福祉協議会

## 地域福祉活動計画の策定にあたって

人口減少、少子高齢化、情報通信技術の目覚ましい発展で、社会情勢が急速に変容してきています。「人生 100 年時代」と言われるようになり、人々の意識や社会の在り方にも変化が見られます。それらに伴って、地域住民の多種多様なニーズに対応した計画を立てたいと考えました。

潮見地区では、令和 2 年に作成した「第 2 期 地域福祉活動計画」に沿って、住民の主体的な参加による活動を進めてまいりました。途中コロナ禍のために十分に活動できない時期もありました。あれから 5 年が経過しましたので、これまでに実施してきた事業の評価・見直しをして、「第 3 期 地域福祉活動計画」を作成する運びとなりました。

策定委員会には、日ごろから地域福祉活動にご協力いただいている関係団体（地域連絡会、潮見公民館、まちづくり協議会、高齢者クラブ連合会、民生児童委員、主任児童委員）の方々にご就任いただきました。委員会では、事業の反省・評価をするなかで忌憚のない意見交換がなされ、新たな課題も見え、全員で情報を共有しながら慎重に協議・検討を重ねてきました。

この計画を策定するにあたっては、松山市における地域福祉に関する計画（このまちのえがおプラン）と相互に連携し一体となって進めることが重要であり、互いに補完・補強しあう関係になるように考慮しました。5 年間という長期的な計画となりましたが、①地区社協の基盤整備 ②福祉活動とボランティア ③在宅福祉・生きがいサービス ④関係団体との協働・連携 ⑤その他 の 5 項目を基本とし、地域性を活かした事業を計画的に展開したいと思っています。

地区社協が中核となって、今後も住民の主体的参加を基本とした地域福祉活動をより計画的・具体的に進めるとともに、地区社協の基盤強化を図り、世代を超えて地域活動に参加しやすい環境づくりにも力を注ぐ所存です。

地区社協の目標テーマ「しんせつで、おもいやりのある、みんなの潮見」を目指し、地域における人と人とのつながりを大切にして、互いに笑顔で声かけあい、助け合いにあふれる、住みよい潮見地区となるよう、より一層の協力・支え合いに取り組んでまいります。この地域福祉活動計画の実現に引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本計画を策定するに当たり、ご尽力いただきました策定委員会の皆様をはじめ、社会福祉協議会の方々に、心からお礼を申し上げます。

令和 7 年 3 月

潮見地区社会福祉協議会  
会長 松田 千津子

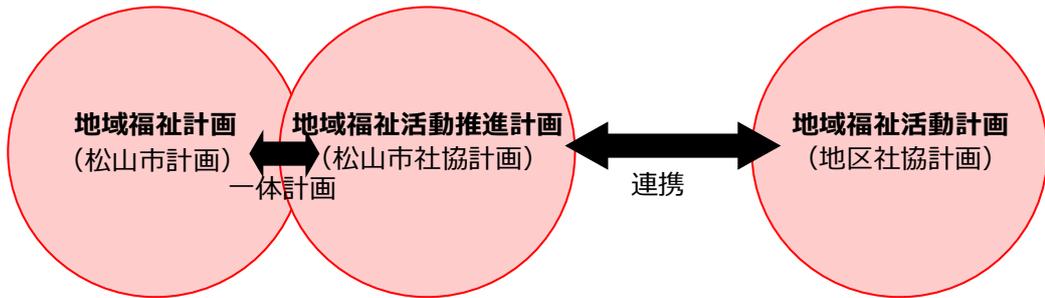
## 目 次

松山市における地域福祉に関する計画の連携と比較	P 1
潮見地区の概要	P 2
潮見地区地域福祉活動計画	P 3
第 3 期潮見地区地域福祉活動計画策定委員会の開催状況	P 8
第 3 期潮見地区地域福祉活動計画策定委員会名簿	P 9
潮見地区社会福祉協議会の活動の様子	P10
潮見地区地域カルテ【参考】	P 12

## 1 松山市における地域福祉に関する計画の連携と比較

地域福祉の推進を図るためには、下記の計画が内容を一部共有したり、策定過程を共有する等、相互に連携し一体となって進めることが重要であり、互いに補完・補強しあう関係にあります。

【イメージ図】



【地域福祉に関する計画の比較】

計画	地域福祉計画・地域福祉活動推進計画 (このまちのえがおプラン)	地域福祉活動計画
策定主体	松山市・松山市社協	潮見地区社協
対象地域	松山市内	地区内
実施期間	5年	5年
基本目標 (基本理念)	みんなが参加し つながり支えあう 共生のまちづくり	「しんせつで — おもいやりある — みんなの潮見」
計画の特徴	<p>【第4期計画】</p> <p>目標1 支えあいの心を育む</p> <p>目標2 みんながつながり参加できる環境づくり</p> <p>目標3 丸ごと支援のしくみづくり</p> <p>目標4 福祉サービスの健全な発達と適切な利用促進</p> <p>以上の4項目を個別目標に掲げ、住民一人ひとりや住民組織、ボランティアグループ、NPO等の関係団体、学校、事業所等、地域の多様な主体がそれぞれの役割を担いながら、互いにつながり、支えあうことで、“誰もが暮らし続けたい”と思えるまちづくりを目指します。</p>	<p>【第3期計画】</p> <p>①地区社協の基盤整備</p> <p>②福祉学習とボランティア</p> <p>③在宅福祉・生きがいサービス</p> <p>④関係団体との協働・連携</p> <p>⑤その他</p> <p>の5項目を基本とし、地域性を活かした事業を計画的に展開する。地区社協が中核となって、住民の主体的参加を基本とした地域福祉活動をより計画的・具体的に進めるとともに、地区社協の基盤強化を図る。</p>

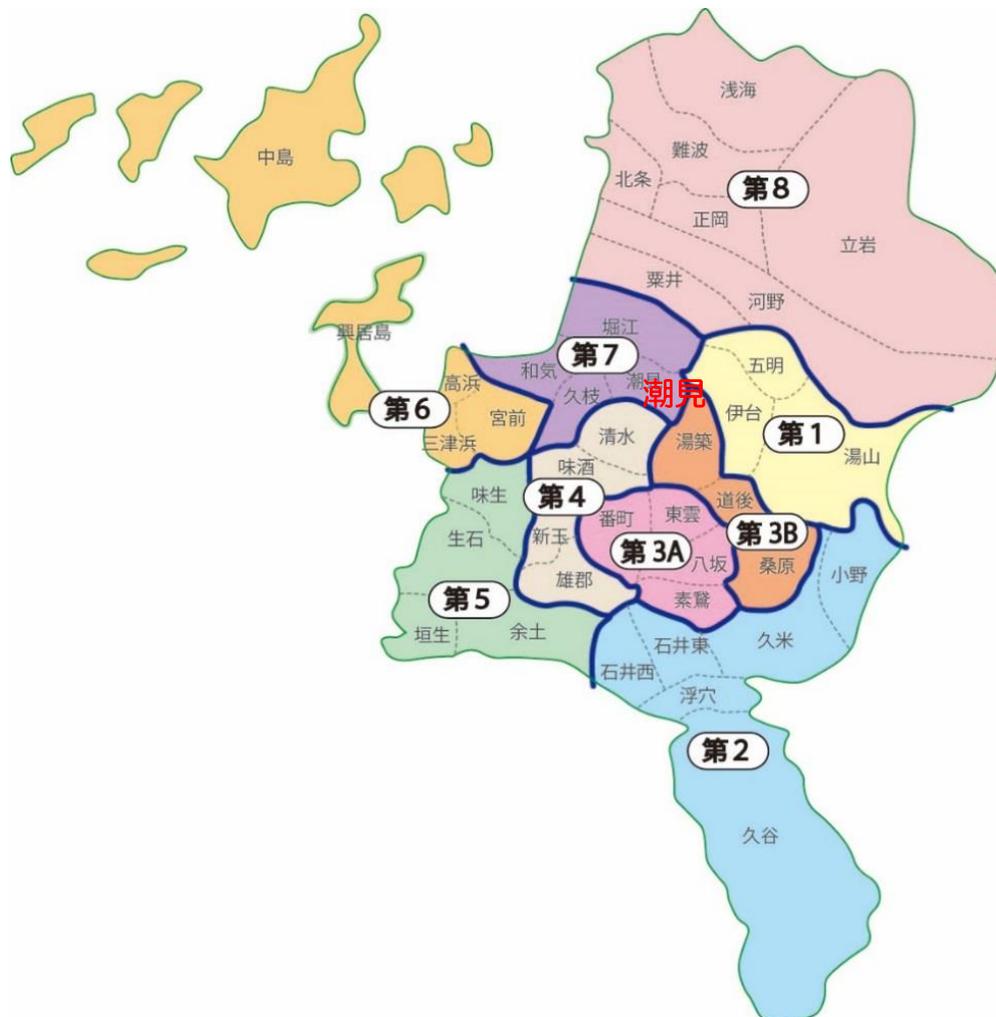
## ■ 潮見地区の概要

(令和7年3月1日現在)

面積	6.73km <sup>2</sup>
人口	9,944人※
世帯数(1世帯当たりの人口)	4,869世帯(2.04人)※
高齢者数(高齢化率)	2,957人(29.7%)※
民生委員・児童委員(主任児童委員)	20人(2人)
町内会・自治会・区長会等	8ヶ所

潮見地区は国道沿いの山麓一体の広大な果樹園地帯と水田地帯、そして多くの新興住宅や企業が建ち並び、また県営団地やいくつかの市営団地が点在する。人情味豊かな伝統を守り続けている地域である。近年、企業やスーパー、各種商店等の進出が目覚しく、急激な都市化が進んでいる。また地域には神社・仏閣・史跡なども多くあり、伝説や民話も数多く残っている。そして農産物においては「宮内伊予柑」の原産地であり、柑橘栽培の立地条件にも大変恵まれていて、昭和40年頃より、全国に誇れる特産品の地場産業として大きな役割を果たしている。

※松山市地区別年齢別住民基本台帳登録者数参照



# 潮見地区地域福祉活動計画

## 1. 基本理念

しんせつで おもいやりある みんなの潮見

## 2. 基本計画

### (1) 地区社協の基盤整備

実施計画	年度計画					5年計画
	7	8	9	10	11	
理事会・評議員会の開催	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	理事会、評議員会を充実し必要に応じて開催する。 (理事等役員 12 名、評議員 32 名程度)
役員会の開催	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	毎月開催し、情報の共有を行う。
各種会則・規約の整備	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	必要に応じて、その都度整備を行う。
活動資金の確保	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	継続して共同募金活動の強化を図り、財源確保に努める。配分金の活用について地域住民への啓発を行い共募理解者等の拡充に努める。
部会体制の強化	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	各部会（啓発調査部会、行事实行部会、援護部会）の機能強化を図り、連携した事業の実施を行う。

潮見福祉だよりの発行	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	編集委員会を開催し、内容の充実を図り発行する。地域連絡会の協力のもと全戸配布を行う。(年1回)
地区社協の拠点活用	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	潮見支所内にある地区社協の事務所を活用しながら、将来的に拠点整備ができるよう、情報収集を行う。
災害等発生時対応資金の活用	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	災害等が発生した場合、地区社協としての活動資金(定期預金)を活用して、必要な支援を行う。

## (2) 福祉学習とボランティア

実施計画	年度計画					5年計画
	7	8	9	10	11	
福祉学習事業	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	地域住民の参加が得られるテーマや学習内容を協議し、福祉情報の発信・啓発を行う。
各種研修会の参加・協力	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	市社協等他団体が開催する研修会にも積極的に参加、協力を行う。
児童・生徒の健全育成に関する事業	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	小・中学校との連携強化に努める。継続して小・中学校の各種事業に参加協力を行う。
地区内団体や福祉施設等の行事への参加協力	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	地区内の各団体が開催する夏祭りや文化祭、運動会、入園式、卒園式等に参加協力し、地区のコミュニケーションの推進を図る。
世代間交流会の開催	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	もちつき等の伝統行事をとおした世代間交流を図るとともに、地域福祉の担い手の育成を図る。

協力会員研修会	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	地域福祉サービス事業における協力会員数の拡大を図るとともに、対応力の向上を図る。
小・中学校福祉活動への助成	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	視覚障がい等、障がいのある児童生徒との交流学习、中学校の「クリーン鴨川」活動等への助成を行う。

### (3) 在宅福祉の向上と生きがいづくり

実施計画	年度計画					5年計画
	7	8	9	10	11	
ふれあい・いきいきサロン事業	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	現在開催されている10カ所のサロンへの支援等を継続して行う。参加者の主体的な運営を指向し、そのための啓発を図る。
地域交流サロン事業	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	サロン農園、子育てサロンの支援を継続し充実させるとともに、新規立ち上げ等、希望があれば積極的に支援を行う。
福祉のつどい	拡充	⇒	⇒	⇒	⇒	現在、年1回開催している「福祉のつどい」について、内容の見直し等、検討・充実に努める。
地域福祉サービス事業	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	在宅福祉サービス（ゴミ出し、掃除等）事業の啓発と協力会員の積極的拡大を図る。地域連絡会（町内会）やまちづくり協議会との連携を強化し、組織体制の確立、相談機能の強化、ニーズの把握に努める。
福祉交流ペタンク大会	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	障がい者の方々の参加の拡大を図るとともに、笑顔のあふれる仲間づくりの機会となるよう、継続・充実していく。
スポーツ・レクリエーション大会	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	グラウンド・ゴルフをはじめとした、様々なスポーツ大会、レクリエーション大会を通じ、地域住民のふれあい、コミュニケーションの拡充に努める。

<b>独居高齢者訪問活動 (配食)</b>	協働	⇒	⇒	⇒	⇒	赤十字奉仕団潮見分団・地区民生児童委員協議会等と協働し、独居高齢者への配食(年1回)サービスを行う。
---------------------------	----	---	---	---	---	--

#### (4) 関係団体との協働

<b>実施計画</b>	<b>年度計画</b>					<b>5年計画</b>
	7	8	9	10	11	
<b>公民館事業との連携</b>	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	体育祭、文化祭、はたちの集い、75歳のつどい(旧敬老会)の開催に協力するとともに、新たな連携事業等も協議していく。
<b>地域連絡会(町内会)との協働</b>	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	福祉だよりの配布、共同募金活動等への協力を継続・充実するとともに、地区社協事業への参加協力を促進する。
<b>民生児童委員協議会との協働</b>	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	民児協との役割の明確化を図るとともに、より一層の連携・強化を図る。
<b>自主防災組織との連携</b>	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	自主防災、地区防災組織との連携のあり方を検討し充実を図る。
<b>日赤活動への協力</b>	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	赤十字奉仕団潮見分団等と連携し、更なる募金活動への周知啓発を図り、社資募集の協力を努める。
<b>地域包括支援センター、在宅介護支援センターとの連携</b>	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	センター主催の健康講座・健康相談等について、地域住民への情報提供を行う等、センターとの連携強化を図る。
<b>介護事業所・障がい者施設等との連携</b>	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	行事および福祉活動への参加協力をを行いながら連携強化を図る。

<b>まちづくり協議会との連携</b>	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	まちづくり協議会の福祉部を地区社協関係者が中心的に担い、まちづくりの視点からも連携に努め、行事への参加協力を行う。チョイソコ（会員制地域乗り合い送迎サービス）、子ども食堂開設の実現可能性について検討していく。
<b>高齢クラブ連合会への助成</b>	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	共催事業も含め、高齢クラブ連合会と協議のうえ充実を図る。

**(5) その他**

<b>実施計画</b>	<b>年度計画</b>					<b>5年計画</b>
	<b>7</b>	<b>8</b>	<b>9</b>	<b>10</b>	<b>11</b>	
<b>福祉施設・団体視察研修</b>	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	市内外で行われている福祉活動や各種団体の取組み等を視察し、今後の地域福祉活動に役立てる。
<b>共催行事・イベント・行事の検討 (組織間連携の強化)</b>	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	地区内で行われている各種行事、またイベント等（農作物の植え付け、収穫、収穫祭等）を関係機関と連携して実施し、組織間のつながりを強化するとともに和気藹々とした地域づくりを目指す。

## ■ 第3期 潮見地区地域福祉活動計画策定委員会の開催状況

### 1.委員会メンバーの選定

名簿のとおり（P9）

### 2.策定委員会の開催

策定委員会においてワークショップ形式で話し合い、各事業の評価と課題を洗い出し、5年計画を検討。

回	開催日	会場	参加者	内容
第1回	R6.12.18(水)	潮見支所	10名	地域福祉活動計画について 今後の会議の進め方について 基本理念等について
第2回	R7.1.27(月)		8名	地区事業計画の確認 基本計画の考察 地区事業計画の確認
第3回	R7.3.14(金)		9名	地区事業計画の確認 基本計画の考察 表紙の構成、添付資料について 最終確認

個々の事業等を一つ一つ委員相互で確認し、5年計画の充実を図った。



### 第3期 潮見地区地域福祉活動計画策定委員会 名簿

役職	氏名	備考
委員長	松田 千津子	潮見地区社会福祉協議会会長 潮見地区民生児童委員
委員	高岡 照昌	潮見地区社会福祉協議会理事 潮見地区地域連絡会会長
委員	富岡 譲治	潮見地区社会福祉協議会副会長・事務局長 潮見地区民生児童委員
委員	中嶋 健二	潮見地区社会福祉協議会理事 潮見地区高齢クラブ連合会会長
委員	宮内 恵美子	潮見地区社会福祉協議会理事・援護部長 潮見地区民生児童委員
委員	村上 敏彦	潮見地区社会福祉協議会 監事 谷町町内会会長
委員	山脇 佳生	潮見地区社会福祉協議会評議員 潮見公民館館長補佐
委員	吉野内 茂	潮見地区社会福祉協議会理事・啓発調査部長 潮見地区民生児童委員協議会会長
委員	渡辺 美由紀	潮見地区社会福祉協議会理事・会計 潮見地区主任児童委員
委員	和田 いづみ	潮見地区社会福祉協議会理事 潮見地区まちづくり協議会事務局長

敬称略・50音順  
(令和7年3月現在)

## 潮見地区社会福祉協議会の活動の様子



世代間交流

福祉のつどい



福祉ペタンク大会



グラウンド・ゴルフ大会

## 潮見地区社会福祉協議会の活動の様子



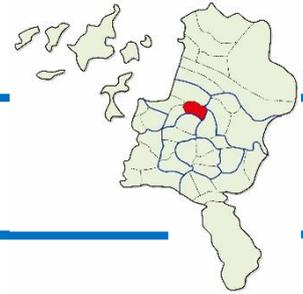
協力会員研修会

福祉学習研修会



サロン活動の支援



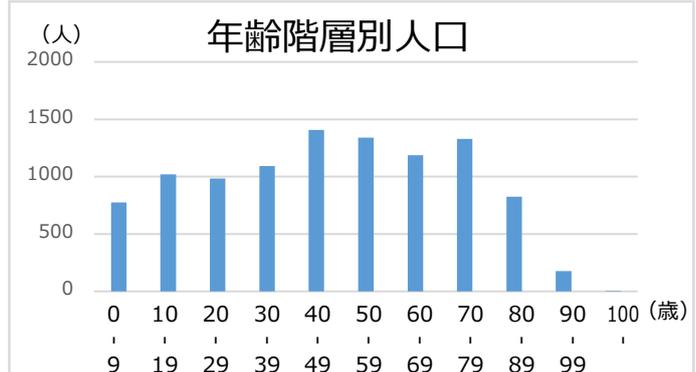


## 【地区の特色】

「潮見」という地名は、その昔、この地方が台風かあるいは大地震のような天災に見舞われ、大津波がこの辺りまで押し寄せ、村人たちは山に駆け登って難を逃れ、日夜潮の動静を窺ったことに由来しているといわれており、地域には神社・仏閣・史跡など多く伝説や民話も数多く残っている。「潮見地区史跡八十八カ所巡り」として、冊子にまとめられ、住民が史跡巡りを楽しんでいる。また「宮内伊予柑」の原産地であり、柑橘栽培の立地条件にも大変恵まれていて、昭和40年頃より全国に誇れる特産品の地場産業として大きな役割を果たしている。



宮内いよかん



## 【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古い地域への新しい世代の参加がスムーズ</li> <li>・自然が豊か、大川沿いには野鳥が多い</li> <li>・高齢者の年齢が松山市平均と同じくらいである</li> <li>・伝統文化の継承ができています</li> <li>・生活関連施設に恵まれている</li> <li>・学区の人气が高く他地域からの転入も多い</li> <li>・自転車で移動可能な範囲が広い</li> <li>・県営、市営住宅がある</li> <li>・学社融合（小、中、公民館）</li> <li>・もちつきなど世代間交流の行事がある</li> <li>・全地区にまたがりサロン活動が活発である</li> <li>・地域福祉活動（協力会員）の体制が整っている</li> </ul>
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動に若者の参加が少ない</li> <li>・地域組織の役員になり手が少ない</li> <li>・勤労世代間の交流が少ない</li> <li>・一部交通の不便な地域、街灯の少ない危険な地域がある</li> <li>・下水道不整備なところがある</li> <li>・川の近くに災害時避難所がある</li> <li>・大雨時に浸水や、土砂崩れの恐れがある危険地域がある</li> <li>・農家が減ってきている</li> </ul>
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各行事への参加が限られた人になりがちである</li> <li>・県営、市営団地内の情報把握が難しいことがある</li> <li>・独居高齢者の増加傾向</li> <li>・高齢者の見守りや在宅医療の支援が困難</li> <li>・空き家問題増加傾向（独居の方が子どもさんとの同居で地区を離れる等）</li> </ul>

# 潮見地区社会福祉協議会

しんせつでおもいやりあるみんなの潮見

<b>構成団体</b>	地区民協・公民館・支所・議員・まちづくり協議会・高齢クラブ連合会・小、中学校 PTA・町内会・地域連絡会・交通安全協会・日赤奉仕団・自主防災連合会・福祉団体
<b>主な取り組み</b>	<b>活動内容</b>
高齢者が楽しめる 場づくり（各種大会）	地域の高齢者の方の楽しみの場づくりを目的に、毎年1回ずつ潮見小学校グラウンドなどを活用し、グラウンドゴルフ・ペタンク・ゲートボール大会等を主催しています。
世代間交流会	高齢者、小・中学生との交流を促進することを目的に、もちつき・ゲーム・うどん昼食などのイベントを開催しています。
配食サービス	一人暮らし高齢者、高齢者世帯を対象に日赤奉仕団の方々と連携して、手作りのちらし寿司の配布を民生児童委員が行っています。

## 福祉のつどい

地区内に暮らしている独居高齢者を対象とした「福祉のつどい」を公民館で開催しています。マジックやミニコンサート、ゲームなど会場全体が楽しめる内容となっております。参加できない高齢者にも、広くサービスが行き渡るようお弁当を届けています。



### <地区社協が目指すもの>

潮見地区では令和2年度に地域福祉活動計画を作成し、①地区社協の基盤整備 ②福祉学習とボランティア ③在宅福祉 ④関係団体との協働を基本に、住民の方々の主体的参加による活動を進めております。

目標テーマの「しんせつでおもいやりあるみんなの潮見」を目指し、地域における人と人とのつながりを大切にして、互いに笑顔で声かけあい、助け合いの心あふれる、住みよい潮見地区となるよう、より一層の協力・支え合いに取り組んでまいります。

<b>地区の状況</b>	■地区民協 民生委員 主任児童委員	20名 2名	■町内会・自治会・区長会等	8団体
	■まち協の設立	平成24年度	■高齢クラブ ■子ども会 ■自主防災組織	5クラブ 14団体 20組織

地区名も含め地域内にある史跡や伝統文化など多様な角度から歴史に触れることのできる特色のある歴史的文化遺産が多い地区です。独居高齢者を対象とした福祉のつどいのほか、配食サービスや小中学生との交流の場や潮見小学校のグラウンドを活用したスポーツの大会など、高齢者が社会参加をする場が多様な形で設けられていることも特徴として挙げられます。特にイベントに参加できない高齢者にもお弁当を届けるなど、皆が住民として気遣い合える地区でもあります。転入者の増加に伴って、地域活動への若い世代の参入が減少していることから、地区の宝である人のつながりを若い世代にも引き継いでさらに活発化していくことが、未来の住民に残す大きな資産となるでしょう。



## 第3期 潮見地区地域福祉活動計画

**発行：潮見地区社会福祉協議会**  
**(潮見地区地域福祉活動計画策定委員会)**

《問い合わせ先》

松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課  
〒790-0808  
松山市若草町8番地2 松山市総合福祉センター内  
Tel : 089-941-3828 / Fax : 089-941-4408  
Web アドレス <https://www.matsuyama-wel.jp/>  
E-meil [chiiki@matsuyama-wel.jp](mailto:chiiki@matsuyama-wel.jp)  
発行日：令和7年3月